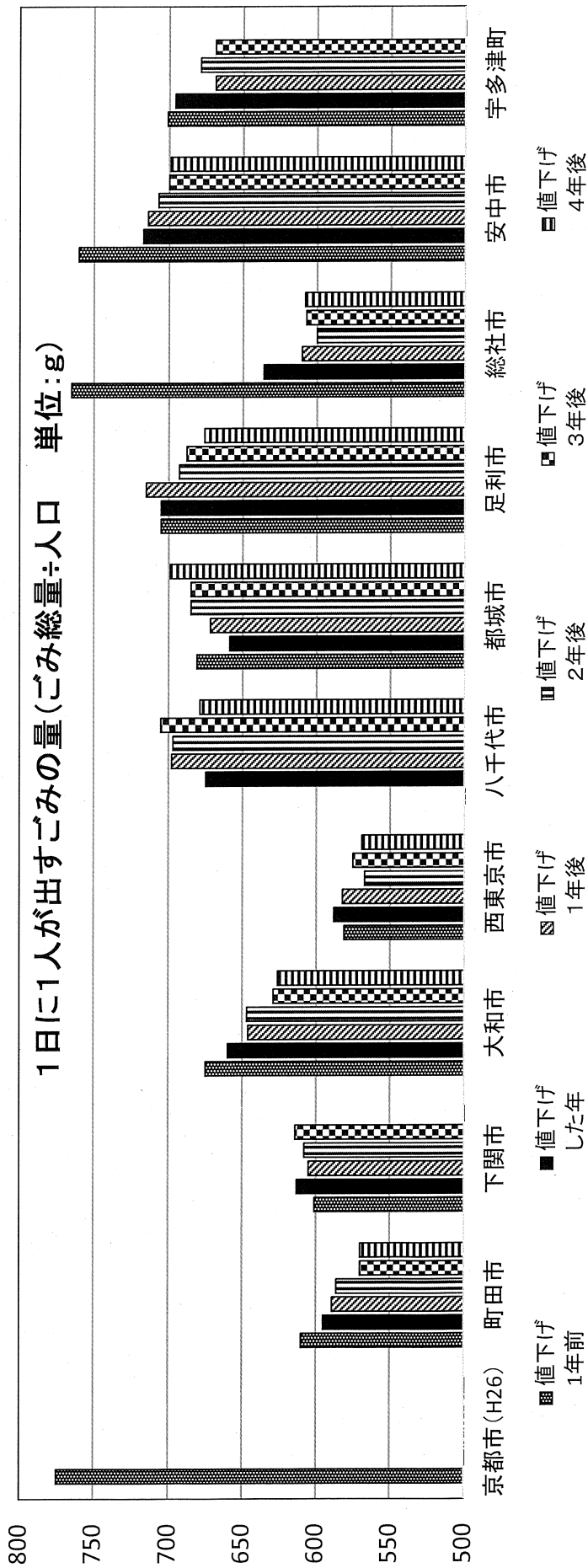


ごみ袋を値下げした自治体のごみ量の推移

環境政策局資料より作成

自治体名	袋の価格(円/1ℓ)		人口		単位:g/人・日						
	値下げ前	値下げ後	値下げ前の人口	値下げ後の人口	値下げした年	値下げ1年後	値下げ2年後	値下げ3年後	値下げ4年後	値下げした年	
京都市(H26年)	1.00	-	1,474,484	-	-	775	-	-	-	-	-
東京都町田市	2.00	1.60	413,999	426,410	4年後	610	595	589	586	570	570
山口県下関市	1.00	0.70	281,517	275,738	3年後	601	613	605	608	614	-
神奈川県大和市	2.00	1.60	220,747	232,497	4年後	675	660	646	647	629	626
東京都西東京市	2.00	1.50	191,402	197,607	4年後	581	588	582	567	575	569
千葉県八千代市	0.80	0.60	176,659	185,946	4年後	-	675	698	697	705	679
宮崎県城市(みやこのしょうし)	0.80	0.22	172,297	169,620	4年後	681	659	672	685	685	699
栃木県足利市	1.30	0.30	155,703	153,360	4年後	705	705	715	693	688	676
岡山県総社市(そうじゃし)	1.10	0.51	66,627	67,809	4年後	765	636	610	600	607	608
群馬県安中市(あんなかし)	0.44	0.22	62,752	60,684	4年後	760	717	714	707	700	699
香川県綾歌郡宇多津町	1.00	0.60	17,526	18,237	3年後	701	696	669	679	669	-

※都市は、4年後0.33円に値上げ



ごみ袋代収入に対する「有料化財源」の割合（決算額）

環境政策局の資料より作成

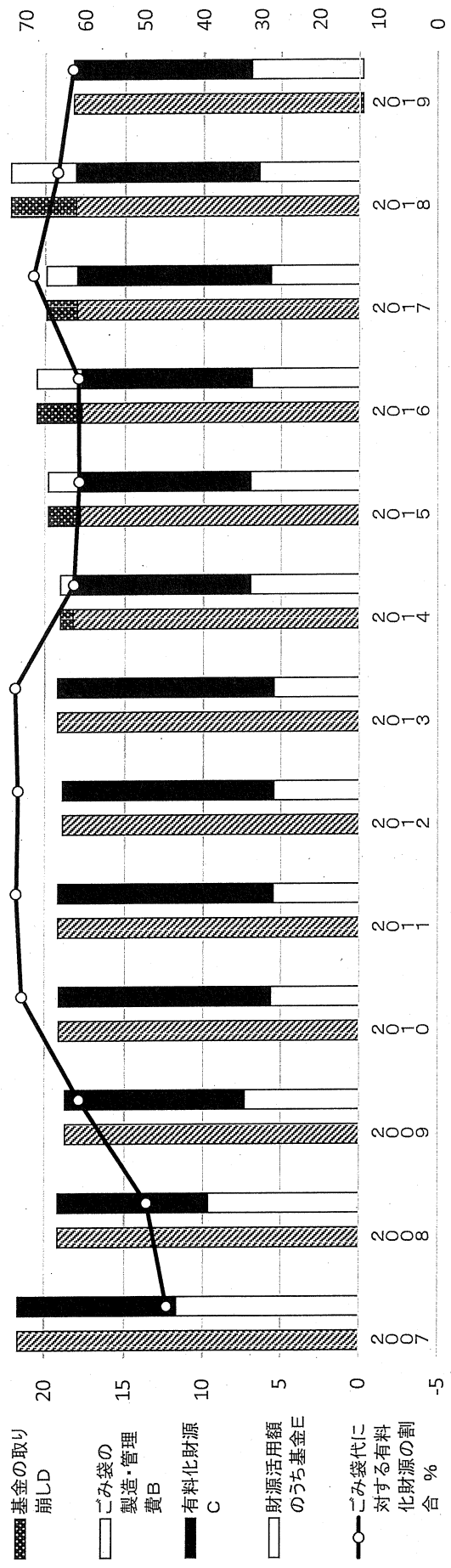
（単位：千円）

	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)
ごみ袋代の収入 (手数料収入=A)	2,170,256	1,916,913	1,872,424	1,912,240	1,917,875	1,890,643	1,921,417	1,825,034	1,779,779	1,770,616	1,799,312	1,808,670	1,821,448
環境共生市民協働事業 基金の取り崩し=D	0	0	0	0	0	0	0	77,944	201,150	283,241	193,116	411,915	-24,683
袋代収入A+基金Dの 計	2,170,256	1,916,913	1,872,424	1,912,240	1,917,875	1,890,643	1,921,417	1,902,978	1,980,929	2,053,857	1,992,428	2,220,585	1,796,765
製造・管理費 (必要経費=B)	1,168,589	966,482	731,144	561,650	545,261	542,641	543,307	696,157	694,004	688,464	562,623	639,831	689,867
有料化財源 (A-B)=C	1,001,667	950,431	1,141,280	1,350,590	1,372,614	1,348,002	1,378,110	1,128,877	1,085,775	1,082,152	1,236,689	1,168,839	1,131,581
財源活用額 (C+D)=E	1,001,667	950,431	1,141,280	1,350,590	1,372,614	1,348,002	1,378,110	1,206,821	1,286,925	1,365,393	1,429,805	1,580,754	1,106,898
袋代収入A に対する 有料化財源Cの割合	46%	50%	61%	71%	72%	71%	72%	62%	61%	61%	69%	65%	62%

ごみ袋代収入に対する「有料化財源」の割合

単位：億円

単位：%



ごみ袋代の収入による「有料化財源」等の活用事業の内訳

財源活用事業の内訳

(単位:千円)

項目	主な事業内容	決算額
環境先進都市・京都の更なる進化に向けた2Rと分別・リサイクルの促進	・使い捨てプラスチック削減推進事業 ・食品ロス削減等推進事業 ・紙ごみ削減推進事業 ・イベント等のエコ化の推進 など	82,135
環境施設見学会 「ごみ減量エコバスツアー」	・市民の更なるごみ減量や分別・リサイクル意識の高揚を図るため、ごみ処理施設・再資源化施設見学会を実施	3,621
ごみ減量活動の推進	・生ごみ減量推進事業 ・生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 ・コミュニティ回収等の集団回収事業 ・市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進 ・使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	124,453
資源物の分別・リサイクルの推進	・資源物の拠点回収の推進 ・移動式拠点回収事業 ・小型家電リサイクル資源の活用 ・資源物の持ち寄り禁止等啓発パトロール ・せん定枝の分別・リサイクル推進事業	95,401
空き缶、空きびん、ペットボトルのリサイクルの推進	・資源リサイクルセンターで缶・びん・ペットボトルの選別・異物除去・圧縮の処理を実施 ・施設運営費として活用	104,200
プラスチック製容器包装のリサイクルの推進	・圧縮梱包施設でプラスチック製容器包装の異物除去・圧縮梱包の処理を実施 ・施設運営費として活用	281,238
「世界一美しいまち・京都」の推進	・市民ボランティア団体等による清掃活動への支援 ・家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	13,949
地域団体への不法投棄監視カメラ等の貸与	・地域での常習的な不法投棄を抑止するため、監視カメラの貸与を実施	760
再生可能エネルギー等の利用の推進	・すまいの創エネ・省エネ応援事業 ・京都市市民協働発電制度の普及支援	71,057
市民による地球温暖化対策の推進	・「エコ学区」ステップアップ事業 ・「DO YOU KYOTO?」推進事業～環境にやさしいライフスタイルへの転換～ など	54,580
次世代自動車普及促進事業	・電気自動車等用の充電設備メンテナンス費用等	2,190
IPCC総会京都市開催記念事業	・IPCC総会の京都市開催を記念したシンポジウムの開催	5,168
南部クリーンセンター第二工場環境学習施設の初度調弁及び運営	・環境学習施設「さすてな京都」の初度調弁及び運営	94,258
環境政策局以外の活用事業	森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～	57,953
	木質ペレット需要拡大事業	5,320
	街路樹整備事業～花の道づくり、道路の森づくり～	16,505
	既存住宅の省エネリフォーム支援事業	24,110
京都市民環境ファンドへの積立 (最先端技術を活かした再生可能エネルギー分野などへの中長期的な活用に向けた計画的な積立)		70,000
合計		1,106,898

環境政策局資料

ごみ収集事業の民間委託状況

環境政策局の資料より作成

同事業の委託率が高くなると、災害ごみの処理などに影響が及びます。

ごみ収集車の台数

年度	直営台数	庸車台数	委託台数	車両台数計	前年度比(台)
2012 (平24)	62	73	54	189	-
2013 (平25)	60	67	61	188	-1
2014 (平26)	60	60	68	188	0
2015 (平27)	60	50	78	188	0
2016 (平28)	60	39	89	188	0
2017 (平29)	60	36	92	188	0
2018 (平30)	60	30	98	188	0
2019 (令1)	60	25	102	187	-1

ごみ収集に携わる職員及び委託従業員数

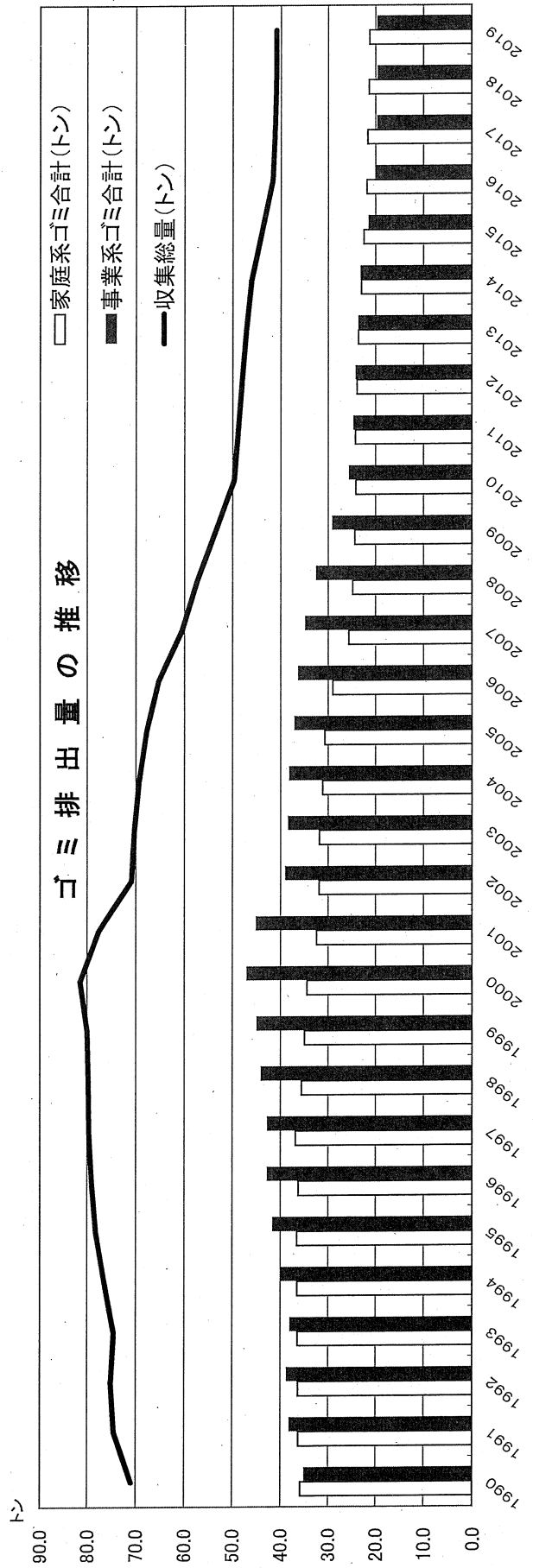
年度	直営職員数 (直営台数 3人/台)	庸車職員数 (庸車台数 2人/台)	庸車の委託従業員数 (庸車台数 1人/台)	委託車両の委託従業員数 (委託台数 3人/台)	職員及び委託従業員合計	直営職員計	委託従業員計	ごみ収集事業の民間委託率
2012 (平24)	186	146	73	162	567	332	235	41%
2013 (平25)	180	134	67	183	564	314	250	44%
2014 (平26)	180	120	60	204	564	300	264	47%
2015 (平27)	180	100	50	234	564	280	284	50%
2016 (平28)	180	78	39	267	564	258	306	54%
2017 (平29)	180	72	36	276	564	252	312	55%
2018 (平30)	180	60	30	294	564	240	324	57%
2019 (令1)	180	50	25	306	561	230	331	59%

京都市は、委託目標70%を掲げています ↑

京都市のごみ排出量（受入量）の推移（単位：万トン）

環境政策局の資料より作成

年度	1990	1993	1996	1997	1999	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
家庭系 ごみ	35.9	36.4	36.3	36.8	35.0	32.4	31.9	31.1	30.7	28.9	25.6	24.8	24.4	24.1	24.2	23.9	23.6	22.9	22.4	21.8	21.6	21.4	21.4	
事業系 ごみ	35.1	38.1	42.8	42.8	45.0	45.1	39.0	38.5	37.1	36.4	34.9	32.6	29.1	25.6	24.7	24.2	23.6	23.2	21.5	19.9	19.7	19.6	19.6	
収集 総量	71.0	74.5	79.1	79.6	80.0	77.6	70.9	70.3	67.8	65.3	60.6	57.4	53.5	49.7	48.9	48.1	47.2	46.1	44.0	41.7	41.3	41.0	41.0	
関連施設 策など	6月全 国市長 会がご み有料 化への 考えを 提言	10月 空きビ ン分別 収集実 施 市ごみ 削減推 進会議 が設立 される	10月 ペット ボトル 分別ご み有料 化 ●12月 京都議 定書採 択	11月 缶、ビ ン、ペ ットボ トルの 透明化 の導入	6月市 民は有 効なご み削減 策を提 言、ハ ブコ マ実 施。7 月持ち 込みご み削減 率を提 言し、 7月同 議会審 議部に 設置	1月指 定強制 導入方 針発表 4月業 者収集 ごみ手 数削減 率を提 言し、 7月同 議会審 議部に 設置	10月プ ラスチ ック製 容器の 分別取 扱を全 世帯に 開始	4月業 者収集 ごみ搬 入手数 削減率 10月各 市産廃 搬入上 限量改 定	10月各 市産廃 搬入上 限量改 定、持 ち込み ごみ手 数削減 率を提 言し、 7月同 議会審 議部に 設置	6月業 者収集 ごみの 透明化 による 排出量 削減	10月「 生ご み3キ リ運動」 開始	7月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 9月有 害・危 険ごみ の分別 回収率 向上を 提言し 実施	4月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 6月各 市産廃 搬入上 限量改 定	10月「 生ご み3キ リ運動」 開始	4月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 8月「 KYOT Oエコ マネー」 開始	10月「 生ご み3キ リ運動」 開始	7月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 9月有 害・危 険ごみ の分別 回収率 向上を 提言し 実施	4月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 6月各 市産廃 搬入上 限量改 定	10月「 生ご み3キ リ運動」 開始	4月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 6月各 市産廃 搬入上 限量改 定	4月業 者収集 ごみの 分別取 扱を提 言し、 6月各 市産廃 搬入上 限量改 定	4月地 域学習 会を開 始	4月マン ション 紙ごみ 削減対 策 販売期 限延長 の杜撰 実験	

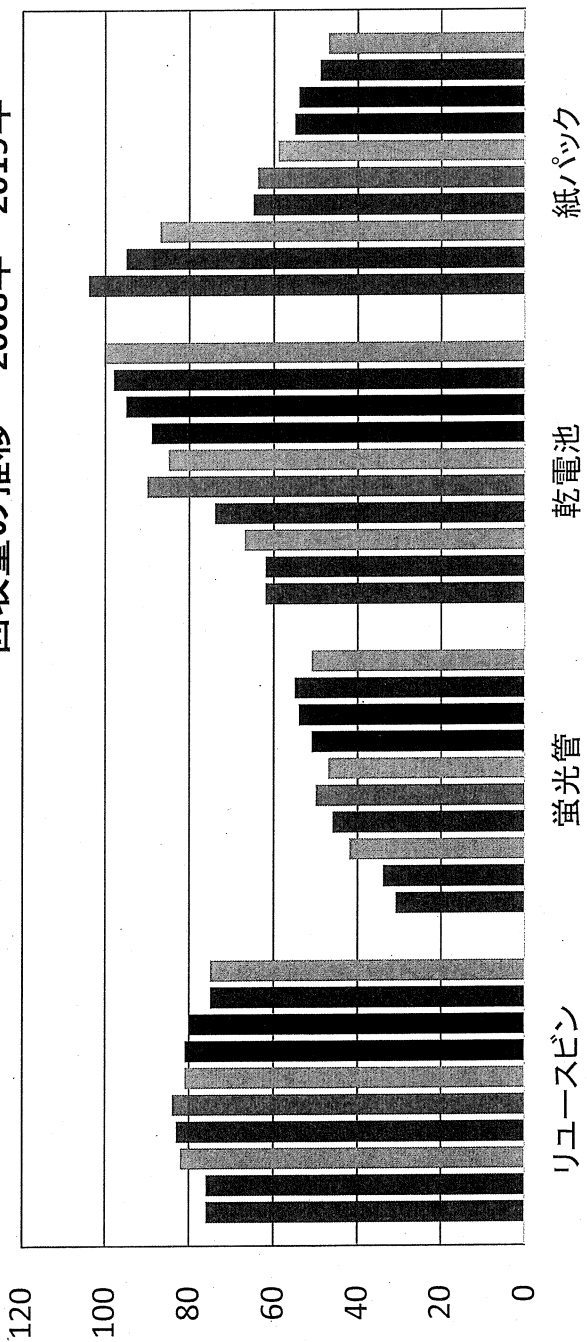


ごみの回収拠点数と回収量の推移（リユースビン、蛍光管、乾電池、紙パック、てんぷら油）

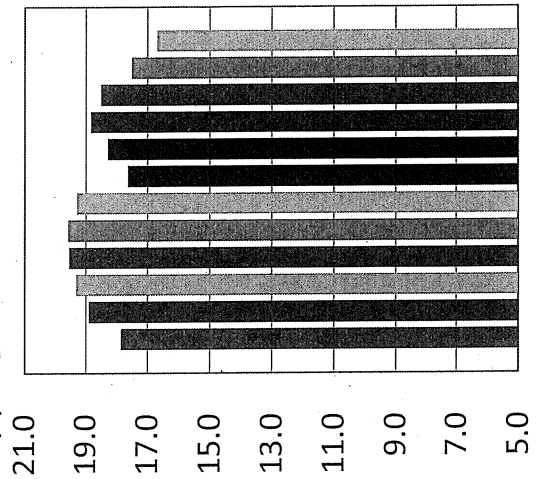
環境政策局資料より作成

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)
リユースビン	拠点数	79	104	127	146	151	157	162	164	163	162	157
	回収量(トン)	76	76	82	83	84	81	80	75	75	71	66
蛍光管	拠点数 (協力店)	251	276	294	99	102	112	124	128	130	130	130
	回収量(トン)	31	34	42	46	50	51	54	55	51	59	59
乾電池	拠点数	83	107	131	234	330	336	347	352	351	348	346
	回収量(トン)	62	62	67	74	90	89	95	98	100	110	111
紙パック	拠点数	288	289	294	315	319	320	332	331	327	325	320
	回収量(トン)	104	95	87	65	64	55	54	49	47	42	41
天ぷら油 (使用済み)	拠点数	1,352	1,447	1,577	1,647	1,686	1,806	1,871	1,895	1,811	1,776	1,694
	回収量(L)	178,528	189,006	193,172	195,515	195,822	176,412	182,770	188,289	184,989	175,135	166,970

単位:トン



単位:万トン



東部山間埋立地「エコランド音羽の杜」搬入実績

環境政策局資料より作成

年度	焼却残灰(トン)	不燃ごみ(トン)	計(トン)
2000年 (H12)	84,810	36,770	121,580
2001年 (H13)	105,405	34,303	139,708
2002年 (H14)	95,331	21,706	117,037
2003年 (H15)	94,462	22,776	117,238
2004年 (H16)	93,395	25,594	118,989
2005年 (H17)	85,080	23,530	108,610
2006年 (H18)	80,389	19,924	100,313
2007年 (H19)	69,434	19,600	89,034
2008年 (H20)	66,075	15,772	81,847
2009年 (H21)	62,725	7,749	70,474
2010年 (H22)	54,624	1,723	56,347
2011年 (H23)	42,829	2,335	45,164
2012年 (H24)	47,582	2,295	49,877
2013年 (H25)	50,906	3,023	53,929
2014年 (H26)	47,967	2,748	50,715
2015年 (H27)	44,825	2,012	46,837
2016年 (H28)	43,243	2,192	45,435
2017年 (H29)	38,979	2,372	41,351
2018年 (H30)	40,195	3,171	43,366
2019年 (R1)	37,080	1,819	38,899
合計	1,285,336	251,414	1,536,750

整備費は約523億円。2000年4月から埋立開始。

2010年度10月から産廃の受入れ廃止。

有効埋立容量は450万m³。

